

解答

一

- 問一 ① 足 ③ 胸
問二 同じことで
問三 まゆをぐつとよせて
問四 エ
問五 まごまご
問六 つつじの植えこみの前
問七 (1) ぼくだけが『よそも』のような気がする（から）
(2) 引っこみ思案
問八 顔を見合わせて笑っていた
問九 ア
問十 第二場面：入学した学
第三場面：一か月が過
問十一 ウ

二

- 問一 「もの知り」と「教養」とを一緒くたにしている（人がふえること）
問二 ウ
問三 新しいものを生み出す
問四 その文化の源流まで
問五 ひとことで
問六 エ
問七 自分で考え
問八 イ
問九 それは、私
問十 同級生たちが知っている基本的なこと
問十一 ア
問十二 ア × イ ○ ウ ○ エ × オ ○

三

- ① にゅうねん ② はぶ〔く〕 ③ もう〔ける〕 ④ こうぎよう ⑤ なか〔ば〕
⑥ 厚〔い〕 ⑦ 紅梅 ⑧ 垂〔れる〕 ⑨ 拝借 ⑩ 治〔める〕

解説

一

- 問七 「みんなが知り合いのようなこの学校で、ぼくだけが『よそも』のような気がする、どうしても自分から輪の中に入ることができないのだ」と描写されています。

二

- 問一 本文は、「知識」と「教養」の違いについて述べられています。テレビのクイズ番組は「『もの知り』と『教養』を一緒くたにしている」が、それは違う、と筆者は主張しています。